

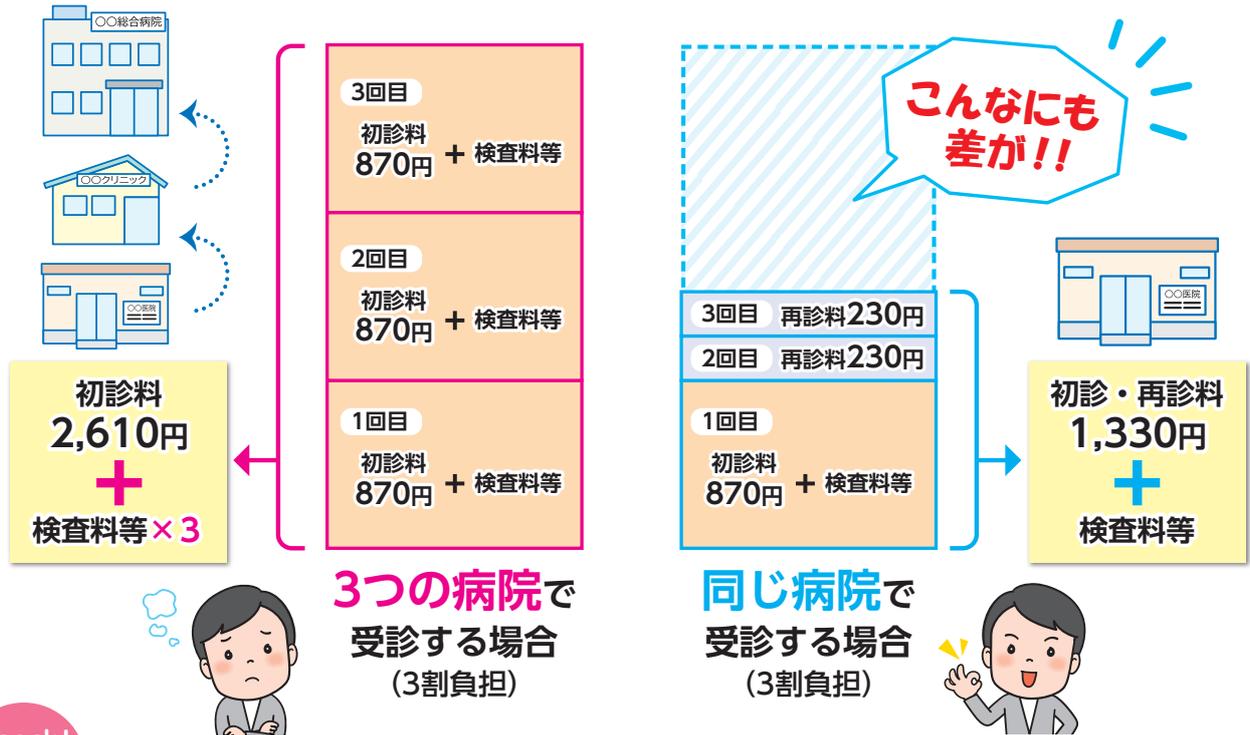
知って
おきたい!

医療費節約術



STOP!! 「はしご受診」

はしご受診とは、同じ病気やケガで複数の医療機関を受診することです。
はしご受診をすると、初診料や検査料等が医療機関ごとに発生するため、**医療費の負担が大きくなります**。
また、同じような検査や投薬をすることは、**体の負担にもつながります**。



Check!

かかりつけ医・かかりつけ薬局があると安心

●かかりつけ医

日常的な診療や健康相談ができる身近な医師

継続的に受診することで、病状や体質などを踏まえた診察を受けることができ、必要に応じて、適切な専門医や医療機関を紹介してくれます。



●かかりつけ薬局

医療機関で処方せんをもらったとき、薬を受け取るためにいつも利用する薬局

体質や薬歴を把握したうえで、副作用やアレルギー、重複や飲み合わせなどをチェックしてくれます。また、市販薬を選ぶ際や薬が余っているときなど、薬のさまざまな相談に乗ってもらうこともできます。



!!
**ポリファーマシー
にご用心**

多くの薬を服用することで、副作用などの症状が現れたり、飲みすぎ、飲み間違いにつながる危険性が高まっている状態を「ポリファーマシー」といいます。ポリファーマシーを防ぐためにも、かかりつけ医・かかりつけ薬局があると安心です。

「ジェネリック医薬品」を選択しよう!

石川支部
ジェネリック医薬品
使用割合(数量ベース)
89.6%
(令和7年2月時点)

Point
1

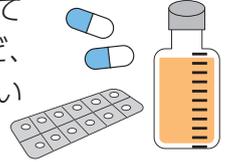
お財布にやさしい

新薬(先発医薬品)よりも3~5割程度安くなる場合があります。新薬の特許が切れた後に製造・販売されることで短期間・低コストで開発できるため、価格が安くなっています。

Point
2

飲みやすい工夫も

新薬と同じ有効成分を含み、効き目や安全性が同等であると国から承認されています。味やにおい、形など、服用しやすい工夫が図られているものもあります。



Check!



医薬品の自己負担の新たな仕組み

令和6年10月開始

医薬品の自己負担の新たな仕組みとして、ジェネリック医薬品がある一部の先発医薬品(長期収載品)について、患者さんが先発医薬品の処方を希望された場合は、通常の自己負担分とは別に選定療養として「特別の料金」をお支払いいただくことになりました。この機会に、ジェネリック医薬品への切り替えをご検討ください。

詳しくはこちら
(協会けんぽHP)



ご存じですか? 「スイッチOTC医薬品」

OTC医薬品とは、Over The Counter(カウンター越し)の略で、薬局やドラッグストアで購入できる市販薬のことです。その中でも、医療機関で処方される医療用医薬品のうち副作用が少なく安全性の高いものを市販薬に転用したものを「スイッチOTC医薬品」といいます。



Check!



おすすめポイント

- 1 医療機関で処方される薬と変わらない効果が期待できる**
スイッチOTC医薬品には、医療機関で処方される医療用医薬品と同成分・同量を配合している商品が多いため、同様の効き目が期待できます。
- 2 診療の待ち時間がなく、土日祝日でも購入できる**
医療機関を受診せずに購入でき、仕事や家事など忙しい日々の中でも便利で効率的です。
- 3 医療機関を受診するより費用が節約になることも**
医療機関の場合、お薬代以外にも、診察料や処方せん料、検査料、調剤料などが発生するため、保険診療による自己負担額よりもスイッチOTC医薬品の方が安くなることがあります。

スイッチOTC医薬品を選ぶ際は、まずは薬剤師さんに相談してみましょう!



※スイッチOTC医薬品を使用しても症状が十分に改善しない場合は、早めに医療機関を受診し医師の診察を受けるようにしてください。